

高学年児童の自己有用感を育む
「たてわり活動ハンドブック」の作成と活用
— 一人一人が活躍し、他者から認められる
異年齢交流活動の工夫を取り入れて —

研究構想図

長期研修員 大芦 純

高学年児童の自己有用感の育成

仲間と協力して、他者のために
進んで行動する児童

認められて
うれしい!

一人一人が
活躍できた!

他者からの「ほめる・認める・励ます」メッセージ



個人で作成する
Good Jobカード

6年生が班ごとに作成する
たてわりENJOYカード



仲間との「絆づくり」

たてわり遊び・たてわり清掃・学校行事（運動会）・たてわり長縄

児童会の取組

「輪番制」による
リーダー体験!

仲間や下級生の
ために行動する!

一人一人が活躍する異年齢交流活動の工夫

「たてわり活動ハンドブック」

児童用ハンドブック

教師用ハンドブック

- ・上級生の役割
- ・下級生との接し方
- ・多様な活動のポイント

- ・リーフレット（7つの手立て）
- ・多様な活動の流れ
- ・ワークシートの活用法

活動への
見通し

共通理解



高学年児童
下級生ともっと楽しく
活動するには？

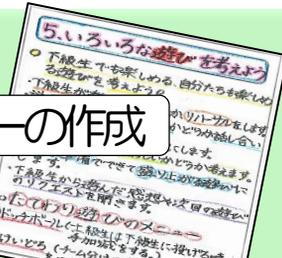


教員の思い
児童主体の活動にしたい！
自己有用感を育むには？

異年齢交流活動の現状と課題（アンケート調査）

「たてわり活動ハンドブック」を活用した異年齢交流活動

児童会の取組（たてわり活動の環境を整える）



活動計画・Good Jobカード、ENJOYカード・たてわりコーナーの作成



児童用ハンドブックの作成

教師用&児童用ハンドブックの活用（事前事後学習・実践）

事前学習（総合的な学習の時間）

カードにめあてを記入・リハーサル



仲間や下級生のために行動しよう！

児童主体のたてわり活動リーフレット

異年齢交流活動で自己有用感を育む7つの手立て

1. 児童主体の活動が「仲間との絆づくり」につながります
子どもたちが活動内容を考えた時、創意工夫が生かされたりするよう体制をつくることで、異年齢交流活動に主体的に取り組めるようにします。
月1回程度の活動計画を立て、一人一人が役割を持ち、仲間と協力して活動するよう役割分担が、子どもも絆づくりにつながります。教師の「居場所づくり」と児童の「絆づくり」が大切です。
2. 「輪番制」によるリーダー&フォロワー体験が、子どもたちの自信につながります
人前で話すのが苦手、自分に自信がない、恥ずかしいと感じる子どもたちもいます。しかし、仲間に向けてもらいながらリーダー体験をすることも大切です。高学年児童をリーダー、リーダーをフォロワー（リーダーを助けてもらう）という両方の役割を体験することで、リーダーの責任や大変さが分かり、フォロワーの役割につ

たてわり遊び・たてわり清掃

運動会

「輪番制」によるリーダー体験

教師も参加

下級生と協力して活動

多様な交流活動



一人一人が活躍している！

事後学習（総合的な学習の時間）

カードに振り返りを記入

活動後に下級生・仲間・保護者・担当教員から肯定的なメッセージを受け取ります！

Good Job カード

たてわり ENJOYカード

びびのしっぽというゲームがとっても楽しくて、1年生に喜んでやらせてうれしかったです。

もっと仲間と協力したい！ 下級生の役に立ちたい！

高学年児童の自己有用感の育成

成果

- ・ハンドブックの活用により教師の共通理解が図れた
- ・児童主体の異年齢交流活動と他者からの肯定的な評価により、高学年児童の自己有用感を育めた

課題

「教師用ハンドブック」の活動内容の充実

提言

たてわり活動ハンドブックの活用は、教師の共通理解と児童主体の異年齢交流活動を導き、全校体制による取組につながる

輪番制でのリーダー体験による共同的な活動と、互いに認め合い、自己有用感を育む取組により、児童同士の絆を深める